

行基事績「神前船息（こうぎきのふなすえ）」に繋がる情報

堺行基の会 前田秀一

「SDGsのモデルとしての行基事績の再評価」をライフワークとしている私にとって、「堺行基の会」主催による「史跡巡りバスツアー」（令和5年4月2日）への参加は、久しぶりにフィールドワーク（地元情報収集）の機会としてワクワク感がありました。

かねて行基さんが開かれた寺は、『行基年譜』に記された「49院」に限られるとの教えの中で、所謂、地元で伝わる行基「開山」または「創建」の寺と伝わる伝承の背景について素朴な関心を持っていました。

訪問先は、真言宗龍臥山久米田寺→浄土宗孝恩寺→真言宗大野山子安阿弥陀寺→真言宗天野山金剛寺で、かつて、市民活動団体「堺なんや衆」の活動の中で「土塔」を中心に行基ゆかりの地を「行基の里」として顕彰提案していた領域を囲んだコース取りであることに気付きました。

これらの中で、国宝「釘無堂」を擁する「孝恩寺」でのガイドさんから、『行基年譜』「天平十三年忌」に「船息二所」として「大輪田船息」（在摂津国兔原郡宇治）と共に記載がある「神前船息（こうぎきのふなすえ）」（和泉国日根郡日根里近木郷）に繋がる説明があり注目しました。



国宝・孝恩寺観音堂（釘無堂）



木積町だんじり格納庫扉

孝恩寺の所在地「木積」は、古代には、行基が築いた観音寺という寺院があり、この地は皇族・橘諸兄（たちばなのもろえ）の領地で木島柚山（きのしまのそやま）と呼ばれ木材の産地であったと伝えられています。「木積（こつみ）」という地名は、行基が四十九院を建立する際に橘諸兄から必要とする木材を譲り受け、切り出して集積した地であったことから名づけられと伝わっていました。

切り出された木材は、地元の近木川（こぎがわ）の流れに乗せて運び出され、大阪湾の河口の地・「神前（こうぎき）」に建設された「船息（ふなすえ）」（港）から四十九院の建設地に向けて運ばれたと考えられています¹⁾。

平成28年（2016）、大阪府教育委員会による発掘調査の結果、「神前（こうぎき）」の地には縄文時代から「加治（かじ）」と共に遺跡が認められ、弥生時代には生活遺跡が発見され、飛鳥時代には掘立柱建物群（役所跡？）が発見され実在が証明されています²⁾。

現在では、「神前船息」の痕跡は残されていませんが、「神前」の名称は地名として残り、現在



は、「加治」と「神前」併合され、「加神（かしん）」という地名として残っていることを確認しました。

「神前船息」建造の背景と意義を確認できたことは、今回のフィールドワークの大きな成果でした。この成果を踏まえてSDGs 14「海の豊かさを守ろう」に関する行基事績の貢献度をランク・アップしました。

SDGsモデルとしての行基事績の再評価

文責：前田秀一

側面	SDGs 持続可能な開発目標 世界を変えるための17の目標	八世紀における貢献度					行基事績
		1	2	3	4	5	
経済	8-働きがいも・経済成長も	→					・陶邑復興、水田開発（治水・用水対策）
	9-産業と技術革新の基盤をつくろう	→					・知識集団結集（土木・建築・木工技術）
社会	1-貧困をなくそう	→					・心に善を積みせ今を救い生活を向上さす
	2-飢餓をゼロに	→					・水資源（池・溝・樋）対策、水田開発
	3-すべての人に健康と福祉を	→					・布施屋設置、水田開発、給孤獨園建設
	4-質の高い教育をみんなに	→					・道場49院建築、平易な説教で民衆善導
	5-ジェンダー平等を実現しよう	→					・女性参加を認め、49院中13院建築
	11-住み続けられるまちづくりを	→					・和泉、淀川流域(中・下)、猪名野総合開発
環境	6-安全な水とトイレを世界中に	→					・生活用水用井戸堀（伝説多数）
	7-エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
	12-つくる責任・つかう責任						
	13-気候変動に具体的な対策を	→					・河道外貯留ダム式池、治水(濁・洪水)対策
	14-海の豊かさを守ろう	→					・海運目的に2港（大輪田、神前）施設
	15-陸の豊かさを守ろう	→					・水田開発（和泉、淀川流域、猪名野）
ガバナンス	10-人や国の不平等をなくそう	→					・律令社会から仏教社会へ橋渡し(大仏建立)
	16-平和と公正をすべての人に	→					・国家安寧事業（大仏建立）へ民衆参加
	17-パートナーシップで目標を達成しよう	→					・行基知識集団と技術集団統合連携

引用資料: Japan Innovation Network「SDGs17の目標は新たな成長の道しるべ」日本経済新聞2020年3月9日号

ライフワークである「SDGsモデルとしての行基事績の再評価」に関する詳細は、当会ホームページ「情報交流ページ」へ報告投稿しております。このテーマについて、会員の皆様とともに意見交換をし、SDGsの視座で行基事績を再評価し、精度を上げることが出来ればと願っております。

<引用資料>

1. 貝塚市教育委員会 2018「貝塚市内の行基ゆかりの地と文化財」『かいづか文化財だよりテンプス 65号』貝塚市教育委員会
2. 大阪府教育委員会 2016『加治・神前・畠中遺跡—大阪府立貝塚高等学校本館棟改築に伴う発掘調査』大阪府教育委員会